平成28年度 まちセン・ゼミを開催しました

「国分寺街道と国3・4・11号線 周辺のまちづくり」

~地域活性化のまちづくりを考える~

9月24日(土)午後1時30分~4時30分、本町・南町地域センターにおいて、『「国分寺街道と国3・4・11号線と周辺のまちづくり」~地域活性化のまちづくりを考える~』をテーマに「まちセン・ゼミ」を開催しました。定員一杯の30名の参加者があり、グループワークでは、活発で有意義な意見交換が行われました。

まず、①「国3・4・11号線街路事業とまちづくりの現状」(講師：まちづくり推進課職員)と、②「まち歩きの視点」(講師：都市計画コンサルタント 鶴沢賢一さん)のミニ講義のあと、まち歩きの視点を次の4つと定め、3グループに分かれて国分寺街道の一部を歩き、続いてグループごとに意見交換(グループワーク)を行いました。

まち歩きの視点

1. まちの機能

- ・土地や建物の使い方(店舗?マンション?戸建て住宅?)
- ・この街にあった方が良いものは?できれば避けたいものは?

2. 街並み・景観

- ・野川や不動橋など 生かすべき景観資源は?
- ・建物の色彩やデザイン、広告・看板等は?
- ・街なかの緑は?

3. 道路環境

- ・新道(都市計画道路)の開通を念頭に置いた道路環境のあり方は?
- ・幹線道路から生活道路へ?

4. その他

- ・街の魅力の向上は?
- ・街の賑わいに関連することは?

それぞれの視点ごとに、まちの良いところ、まちの課題、そしてまちづくりのヒント・アイデア、の3つにまとめました(次ページ参照)。

なお、現在の国分寺街道は、住宅や店舗の他に小規模な工場も建てられる近隣商業地域です。

また、沿線まちづくりのイメージは、「歩いて身近なショッピング」と「にぎわいが楽しめる街づくり」となっています。